が少ないほうがよいので前塩素、中間塩素などで低減化策を図りたい。

ガス水道局長　②④塩素の対応について、水質が悪くなると塩素を多く使わざるを得ない。これにより有機物が多くなると塩素と結びつきトリハロメタンが発生するので、いかに塩素を少なくするかが水質を考える上で重要である。CNPについては生産中止になったので、今後川にでてくるか監視したい。検査については川を我々が調べる事は難しいが、信濃川、阿賀野川水質保全協議会で年4回調査している。

ガス水道施設課長　④昨年の調査では、だいたいの項目において基準値の10％以下であった。塩素くさいとの事だが、これがまったくないと病原菌が住み着く可能性があり水道法の施行規則上、0・1PPM以上の塩素を末端で検出されなければならないとある。

保育園の特別保育はどうなっているか

乳児保育、延長保育、障害児保育を実施している

全国的に消防職員は高齢化傾向にある

E議員　町長施政方針について　①児童福祉対策について（特別保育）②町内で実施している保育所はどこか。今後の入所希望見込みはどうか。町外への通所、通園の実態はどうか。また、入所率アップをはかる具体策はとってきたのか　③今後について、保育所運営審議委員会に諮問されるとの事だが、町長がお持ちの考えは。また、住民ニーズにあった特別保育について、現在の町立保育所では対応しずらいと考えるが、早急に改革したらどうか　④消防、防災対策について（高齢化対策）⑤内部機構そのものの高齢化を心配しているが、構造的高齢化の現状をどのように考えているか。また、高齢化対策で人事交流の可能性はあるか　⑥以前の議会で消防団第2班の消防ポンプ積載車の保管場所について、早急に努力するとの答弁だったが問題もあり遅れているようだが、その問題点とは　⑦社会教育について（サッカー教室）⑧この教室は小学校の場合は、親子同伴でやるのか。また、事故などの対処はどうするか。学校のクラブ活動との整合性はどうか　⑨サッカーについて、幼いころからの訓練が必要であり、サッカー人口を増すべく、教室の募集枠を拡大してほしい　⑩教室はよい事業と考えるので、今後も縦続してほしい。また、社会教育事業として、ランス・モローさんの英会話教室を開く事になっているが、具体的な事は決まっているか。また、青木グレッチエンさんの英会話サークルとの関連性

町長　①本町には9つの保育所、園があるが、近年は子どもの出生率が低下（少子化）しており、新潟市への通園児も多く、保育児童も急減してその経営に苦慮している。しかし、女性の雇用確保の面などから乳児保育、延長保育、障害児保育を一部で実施し、対応しているので、ご理解を。②山田・大野両保育所について整備していきたい。③早急な改革は必要だが、一つ考えなければならない事は、企業の方々が雇用関係について保育等の設備を整えれば、そこに預けるという問題がでてくるのではないかと思われるので、それらをよく検討して進めたい。④この事は、全国、県の本部が抱えている大きな問題の一つである。今後も高齢化は進むものと予想されるため、消防活動の適切な水準確保のため、消防装備の軽量化、安全化が現在も図られている。本町の消防職員についても高齢化対策の一環としてその能力を最大限に発揮できるように、計画的に体力練成を実施し、対応している。⑤広域的な中で、人事交流をしたいと（他市町村に）お話した事があるが、そういった取り組みしかないと考える。⑦学校週5日制の導入に伴い町内の父母より、スポーツ教室などを開催してほしいとの希望が寄せられたが、適当な指導者が見つからず今日に至った。しかし、幸いに新潟市教育委員会やサッカー協会の協力で実施できる事になった。今年度は4月9日から12月10日まで9回開催を予定している。児童・生徒の技術体力向上と健全育成に努めていきたい。⑨サッカーについては2002年ワールドカップ誘致を進めており、青少年の健全育成を基本として募集枠拡大も考えていきたい。⑩新潟がワールドカップの会場という事になると大変な賑わいになると思われる。それに応えられる組織づくりなど検討したい。

住民福祉課長　②町内の乳児保育は生後7ヵ月から一歳までを対象に大野保育所で行っている。延長保育は大野、山田の両保育所で行っている。障害児保育は6年度の場合、寺地、木場の保育所で各々2人ぐらい該当がある。実態については把握しようと照会したがつかめなかった。対策として特別保育や未満児保育など積極的に行っている。③平成6年度の未満児保育は46人を予定している。乳児保育は子ども2人ぐらいに保母1人必要という国の基準があるため、人件費がかかるし、未満児も同じぐらい人件費がかかる。しかし、平成5年度の入所率を見ると65％で今後もこの傾向は進むと考えるのでこれらの保育も多くしなければならない。現在諮問中の答申をまって改革していきたい。

消防署長　⑥保管場所の確保が一番大きな問題である。今後も理事者と図りながら、今年度中にはなんとかしたいと考えている。

社会教育課長　⑧教室について晴天なら多目的広場で、雨天なら体育館で実施したい。時間は午前10時から12時と考えている。会場に来る場合は保護者が責任をもって送ってもらうとの考えであり、中学生は全町の子供が（中学校に）通っているので、自分でこれるものと考えている。クラブ活動との整合性について、想像だが、あまり（クラブ活動をしている生徒は）来ないだろうと考えている。

教育長　⑧黒埼中学校では6年度からサッカー部を設けて指導を行うため、中学生はあまり来ないと考える。事故は保険に加入して対応したいと考える。⑨募集枠については小学校の高学年を中心に募集するので、その推移を見て考えたい。⑩ランスさんの勤務時間外にご好意でやっていただく事になった。北部地区公民館で計画するもので、具体的な事は決まっていないが、青木さんと時間などかみ合わないように細部きめたい。

町総合計画（第3次と第4次）の異なる点は何か

第3次計画は人口5万人の黒埼市を目指したものであり、現在の状況とは異なっている

F議員　町長施政方針について　①町総合計画（第3次と第4次との異なる点）について　②広域行政対策課を設置し、新潟市との合併について慎重かつ大胆におやりになっているが、合併とは別にしても、市町とも生活圏は一本化しており計画策定において市とのコンセンサスを持ちながら将来像を考えてほしいがどうか　③住居表示変更については、なかなか難しいとの事だが、基本計画の中で開発終えたところからやってほしいがどうか　④第3次総合計画の中には「住民と行政が一体化した…」とあるが、その点について第4次ではどうか　⑤都市計画の「見直し作業」における町長の考える重要ポイントは　⑥地価の高騰により企業誘致ができにくくなっているので、高度土地利用が可能なエリアを作ってほしい。それにより土地の利用度を高め、人口密度を確保しながらの施策が可能になるのではないか　⑦新しい計画の中で重要ポイントとして高層建物が建てられるような会議をもってもらいたい　⑧平成3年6月議会の一般質問で、町道の交差点の安全対策について（プチアミ脇の）は充分公安委員会等にお願いしたいとの答弁だったがその後の経過や事故件数は。また、軌道敷の拡幅について　⑨交差点についてはたびたび指摘されているが、町民の意見を充分くみあげておけば、3月の事故は起きなかったのではないか。軌道敷にしても、中学前の踏切などせまい所が多く、JRなどに問い合わせたところ、踏切の管理面積を増やさない方針だという事は承知しているが、事故が起きて後悔しないように軌道敷について一層の働きかけをしてほしい　⑩安全対策の遅れている箇所については解決してほしい。管理面積云々と新潟交通さんは言うが関屋から無くなったので全体の軌道敷という考えの中に取り組んでもらいたい　⑪ガス・水道事業の「施設整備」について（住民ニーズに応えるためガスの安全と水質管理（最近CNPとガンの関係などマスコミに取り上げられているが）のための施設整備とは）⑫CNPの代替農薬も発ガン性があると一部新聞に書かれていた。安全な米を作っていけばこれら水質問題は根本から解決すると考えられるがどうか。また、水についての財政措置はどうなっているか。ガス事業についてガス管敷設の際に陥没する場所しない場所があるようだが、原因は　⑬今後も充分留意してほしいが、現在下がっている所の改修計画はどうなっているか（特に板井地区がひどい）。水の財政措置について、飲料水だけと考えているわけでなく、農薬を代替する場合、CNPとの差額は農家の負担になるが、それらの財政措置は。また、水質検査の結果について公示する必要があると思うが、それらを含めて予算措置はどうなっているか

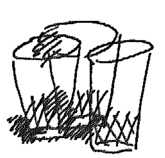
町長　①第3次総合計画によると5万人都市に向けてのキャッチフレーズのもと、黒埼市を目指すとなっている。基本計画は平成7年度までの10ヵ年を目標としたもので、この間に小針線道路の開通や北陸自動車道の延伸部分が今年の夏開通予定であり、また新潟ふるさと村のオープン、済生会新潟第2病院、最近では、黒埼北部土地区画整理事業の起工、合併問題など計画策定時とは状況が変わっている。そこで第3次の見直しを含め第4次を策定する。新年度（6年度）より具体的にかかりたい。②現在、議会はじめこの問題に取り組んでいる。ただ、どう対応するか、理解と信頼がなかったらできない。商店街・農村活性化には大胆に進める必要があり、新しい発想で取り組んでいかなければならないと考える。大外環状線など市、町の良い所を取り上げて進める必要がある。③住居表示は難しいが可能なところからという考えを捨てないで取り組みたい。④第4次総合計画策定では町民と一体となって進めていく考えなのでご協力を賜りたい。⑤都市計画法及び建築基準法の一部を改正する法律が平成5年6月25日施行となり、施行日から3年以内に現在の住居系用途地域の第一種、第二種住居専用地域、住居地域の3用途地域を7つに細分化するものである。今回の法改正は、住居系のため国道8号線沿線や都市計画街路小針線沿線地域等が見直しの重要ポイントと考える。関係市町村と調整を図り、平成8年6月25日までに対処したい。⑥様々な方の理解と信頼を得ながら進めたい。⑦規制外の土地についてどうあたるか、という発想を持って望みたい　⑧3月8日にも事故があり、憂慮している。事故形態は出会頭が主因であり、安全不確認、一時不停止が原因である。西警察署には、今回の事故で定周機式信号を強く要請していきたい。⑨県の予算が足りないため残念だが、強く要請していきたい。⑩実現するように努力したい。私は軌道敷は無くしたほうが良いと考えるので、もしやるなら地不鉄やモノレールなどを環状にして考えられないかと思っている。⑪安全確保、安定供給、安い価格が住民ニーズであると受けとめている。ガス事業では、平成10年までに死亡事故0を目指して資源エネルギー庁及び日本ガス協会を中心に安全施策を推進している。本町でも平成6年度よりガスもれ防止対策としてマイコンメーターを導入する。水道事業では、ろ過池の交換を平成6年完工としている。水質監視では信濃川・阿賀野川両水系水質保全協議会で調査しており、上流に油等の流入事故があれば連絡を取り合う体制になっている。今後とも浄水方法の検討や水質機材の充実を検討していく。⑫専門的に研究しているのは国などの大きいところなので、連絡を密にして対応したい。CNPについて、農家と農協が話し合いをして代替のものを使うと聞いて安心している。財政措置としては色々な制度資金を使いながら知恵をしぼって考えていきたい。⑬水質については下水道に着手しており、それらは水質を大きく変えていくと思う。農薬については収益をあげる農業の確立という中で考えて負担については所得から引く考え方でやりたい。

総務課長　⑧平成3年人身事故2件、物損事故2件、4年物損事故1件、5年人身事故1件、物損事故4件今年は今までに人身事故2件である。

建設課長　⑧国庫補助事業で山田、立仏2号線工事の踏切で新潟交通さんにお願いしたところ、ある踏切を閉める事で拡幅工事が認められた。運輸省では踏切はなくすようにしているとの考えである。

農政課長　⑪今年度よりCNPは使わないとの事なのでご理解を

ガス水道局施設課長　⑫陥没は確かにある。入札時や工事では充分注意して行うが、無理な工事の後など見られるようだ。今後ともきちんとやりたい。⑬公表については、県の会議で（小さい市町村は）県でいつか公表したいとの事だったが、あまり後なら独自に広報したい。

ガス水道局長　⑫業者のノウハウにもるものもあるが、板井は地盤が弱く、長年に渡って沈下している。これらの対策としては、状況を判断し、敷設することが大事である。水質調査の財源は分担金でまかなうが、県からの補助も得られると聞いている。